

岡山豪雨義援金相次ぐ

山陽新聞社会事業団

岡山豪雨の被災者支援にと、山陽新聞社会事業団（岡山市北区柳町、松田正己理事長）には2日も多くの義援金が届けられた。（4面に名簿）

集英社（東京都千代田区一ツ橋、大山恒生宣伝部長）は500万円を寄託。岡山大（岡

児島ライオンズクラブ（同市児島駅前、石橋道明会長）が坂出ラ

イオンズクラブ（坂出

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、

市久米町）から預かった義援金と合わせ108万5千円。一般社団法人県労働基準協会（岡山市北区桑田町、



「猛暑もあって、被災地は二重苦、三重苦の大変さだと思つ。早く笑顔を取り戻せるよう願っている」と大山宣伝部長。榎野学長は「災害を専門とする教授陣や学生ボランティアなど総力を挙げて支援していきたい」、伊地知事務局長は「被災者の状況を知るたびに心が痛む。少しでも復興の役に立てば」と話した。

石橋会長は「ぜひ被災地の復興に役立ててほしい」、厩田会長も「被災者一人一人に行き届くよう役立てて」、谷尾会長は「被災した取引先も多い。一日も早い復興に向け有効に活用を」と求めた。松田理事長らが受け取った。

義援金を手渡す（上段右から）岡山大の榎野学長、集英社の大山宣伝部長、学校法人川崎学園の伊地知事務局長、（下段右から）児島ライオンズクラブの石橋会長、一般社団法人県労働基準協会の厩田会長、谷尾食糧工業の谷尾誠社長